

# 高梁市総合計画 大学生アンケート調査結果（速報）

# 单纯集計結果

# ●調査の概要（速報）

## ■調査の背景及び目的

- ・市内の人口減少が進む中、将来を担う大学生が高梁市で働き・住み続ける、または今後も関係人口として関わり続けることが求められています。本調査では、グループインタビュー結果を踏まえ、**市内就業意向・居住意向・市との関わり意向の3点**を中心にヒアリングを実施し、市内定着（就職）を促進するためのニーズや障壁を明らかにすることを目的とします。

## ■調査の対象者

- ・吉備国際大学の全学部全学年（社会科学部、看護学部、アニメーション学部、人間科学部、保健医療福祉部、心理学部）  
※保健医療福祉部、心理学部は学部再編前の学部になるが、改編前入学の学生は当該学部に所属）  
⇒807人（10月1日時点の日本人学生数）

## ■調査の手法

- ・WEB調査票

## ■調査の時期

- ・10/6（月）～10/31（金）（本資料は10月24日時点の結果）

## ■回収数（人）

総数	198
----	-----

<学校別回収数（人）>

社会科学部	151
看護学部	6
アニメーション学部	11
人間科学部	22
保健医療福祉学部	5
心理学部	3

## ■回収率（%）

全体	24.5%
----	-------

<学校別回収率（%）>

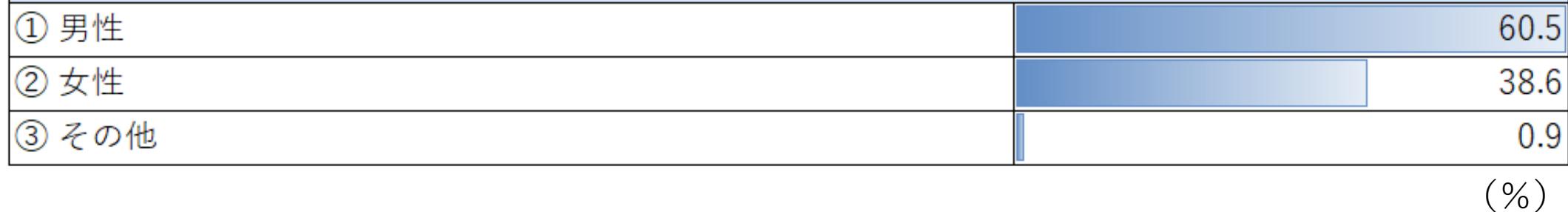
社会科学部	49.5%
看護学部	11.3%
アニメーション学部	15.0%
人間科学部	12.7%
保健医療福祉学部	3.5%
心理学部	4.7%

## ●性別

- ・ 男性の割合が60.5%、女性の割合が38.6%と、男性が女性を21.9 ポイント上回っており、男性の回答者が過半数を占めています。

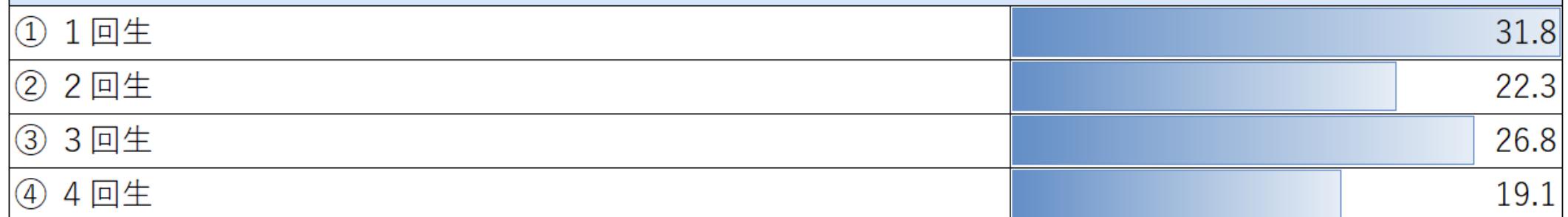
n=220

### 1. あなたの性別は何ですか。 (○はひとつだけ)



- 学年別では、「1回生」が最も多く31.8%、次いで「3回生」26.8%、「2回生」22.3%、「4回生」19.1%の順となっています。

n=220

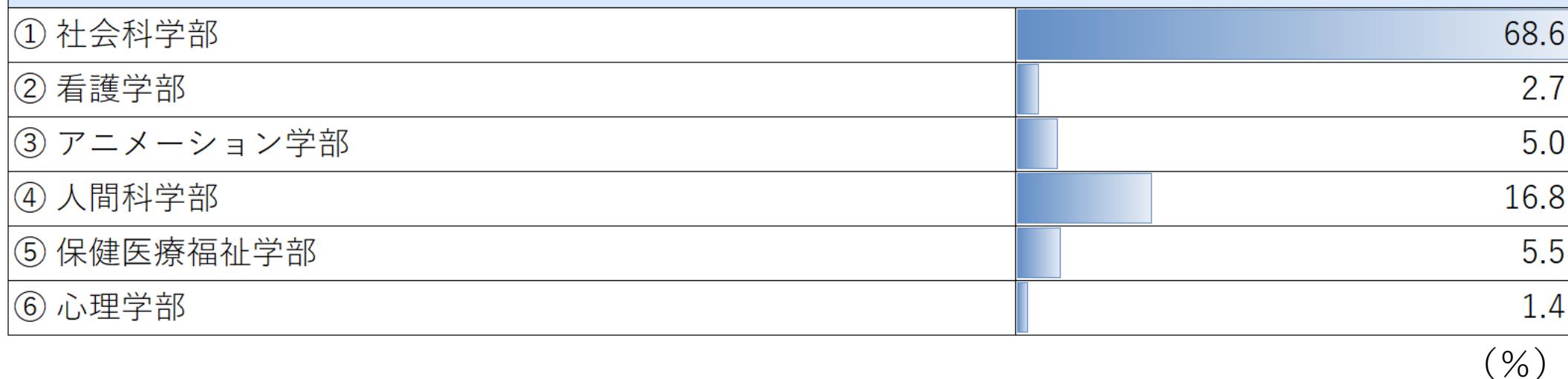
**2. あなたの学年は次のどれですか。 (○はひとつだけ)**

(%)

- 学部別では、「社会科学部」が最も多く68.6%を占め、次いで「人間科学部」16.8%、「保健医療福祉学部」5.5%、「アニメーション学部」5.0%の順となっています。一方、「看護学部」(2.7%) および「心理学部」(1.4%) は少数となっています。

n=220

### 3. あなたの学部は次のどれですか。 (○はひとつだけ)

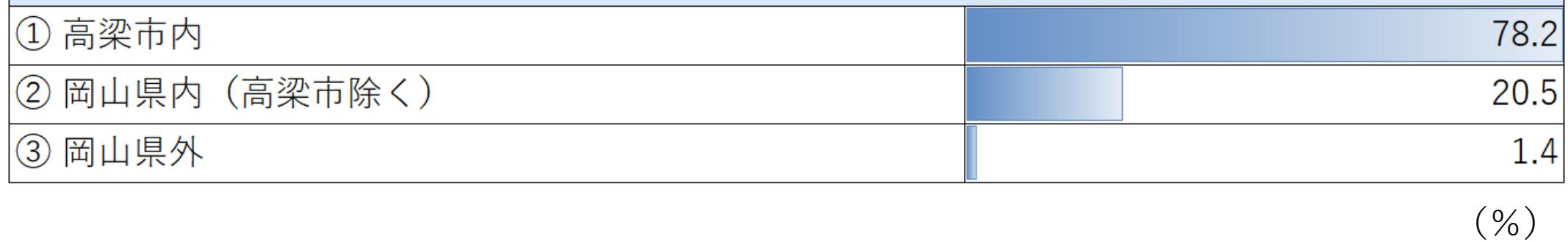


## ●居住地

- 居住地については、「高梁市内」が最も多く78.2%を占め、次いで「岡山県内（高梁市を除く）」が20.5%、「岡山県外」は1.4%となっています。高梁市内在住が全体の8割を多数を占めています。

n=220

### 4. あなたの居住地はどこですか。 (○はひとつだけ)

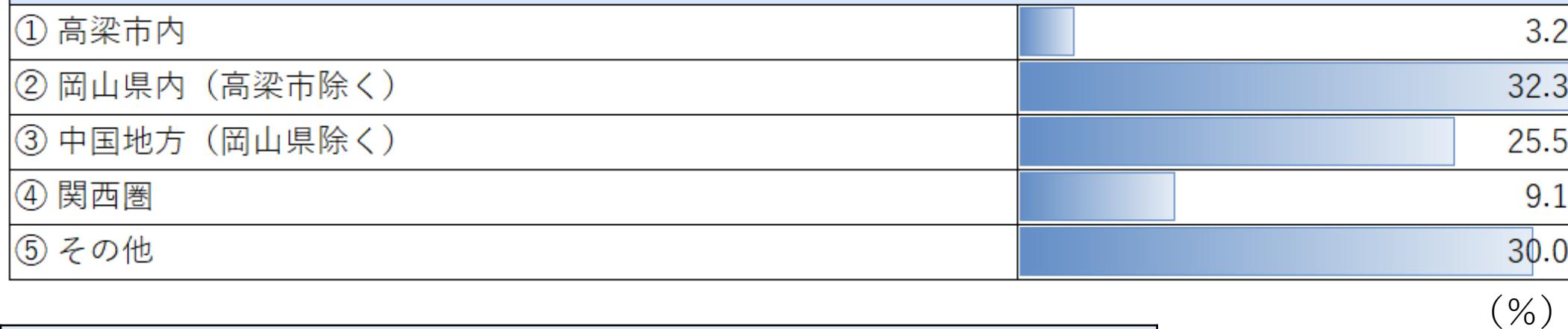


## ●出身地

- 回答者の出身地については、「岡山県内（高梁市を除く）」が最も多く32.3%、次いで「中国地方（岡山県を除く）」が25.5%、「その他」が30.0%となっています。一方で「高梁市内」は3.2%にとどまっており、市外出身者が大多数を占めています。

n=220

### 5. あなたの出身地はどこですか。（○はひとつだけ）



### その他の回答

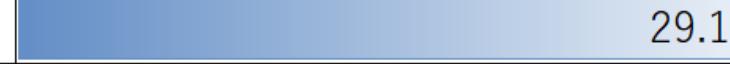
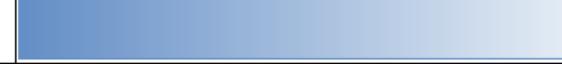
インドネシア、カンボジア、ベトナム、海外、愛媛県、香川県、高知県、四国地方、徳島県、愛知県、静岡県、九州地方、佐賀県、大分県、長崎県、福岡県、北九州

## ●地域への愛着

- ・「愛着がある」（11.8%）、「どちらかといえば愛着がある」（29.1%）を合わせると、約4割（40.9%）の回答者が高梁市に対して何らかの愛着を感じている結果となりました。一方で、「どちらかといえば愛着がない」（22.7%）、「愛着がない」（20.0%）と、愛着の薄い層も約4割を占めています。

n=220

### 6. 高梁市にどれくらい愛着を感じていますか。 (○はひとつだけ)

① 愛着がある		11.8
② どちらかといえば愛着がある		29.1
③ どちらかといえば愛着がない		22.7
④ 愛着がない		20.0
⑤ わからない		16.4

(%)

## ●愛着を感じるところ

- ・愛着を感じるところとして、「自然が豊か」（32.5%）が最も多く、次いで「休日に楽しめる場所がある」（17.3%）、「治安が良い」（16.2%）、「地域の人との関係が良く、関わる機会も多い」（13.7%）が続いています。

n=197

### 6で「愛着がある」「どちらかといえば愛着がある」と回答した人のみ

#### 7. 高梁市のどのようなところに愛着を感じていますか。（該当するもの全てに○）



その他の回答

星がきれい、少子高齢化

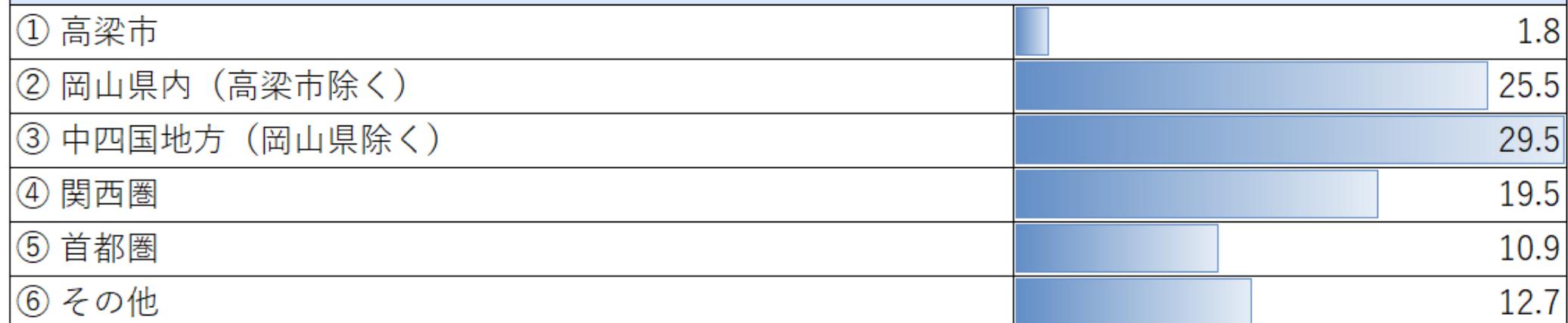
(%)

## ●希望勤務地

- ・「中四国地方（岡山県除く）」が最も多く（29.5%）、次いで「岡山県内（高梁市除く）」25.5%、「関西圏」19.5%の順となっています。一方で「高梁市内」を希望する割合は1.8%に留まっています。

n=220

### 8. 就職する際、希望する勤務地はどこですか。（○はひとつだけ）



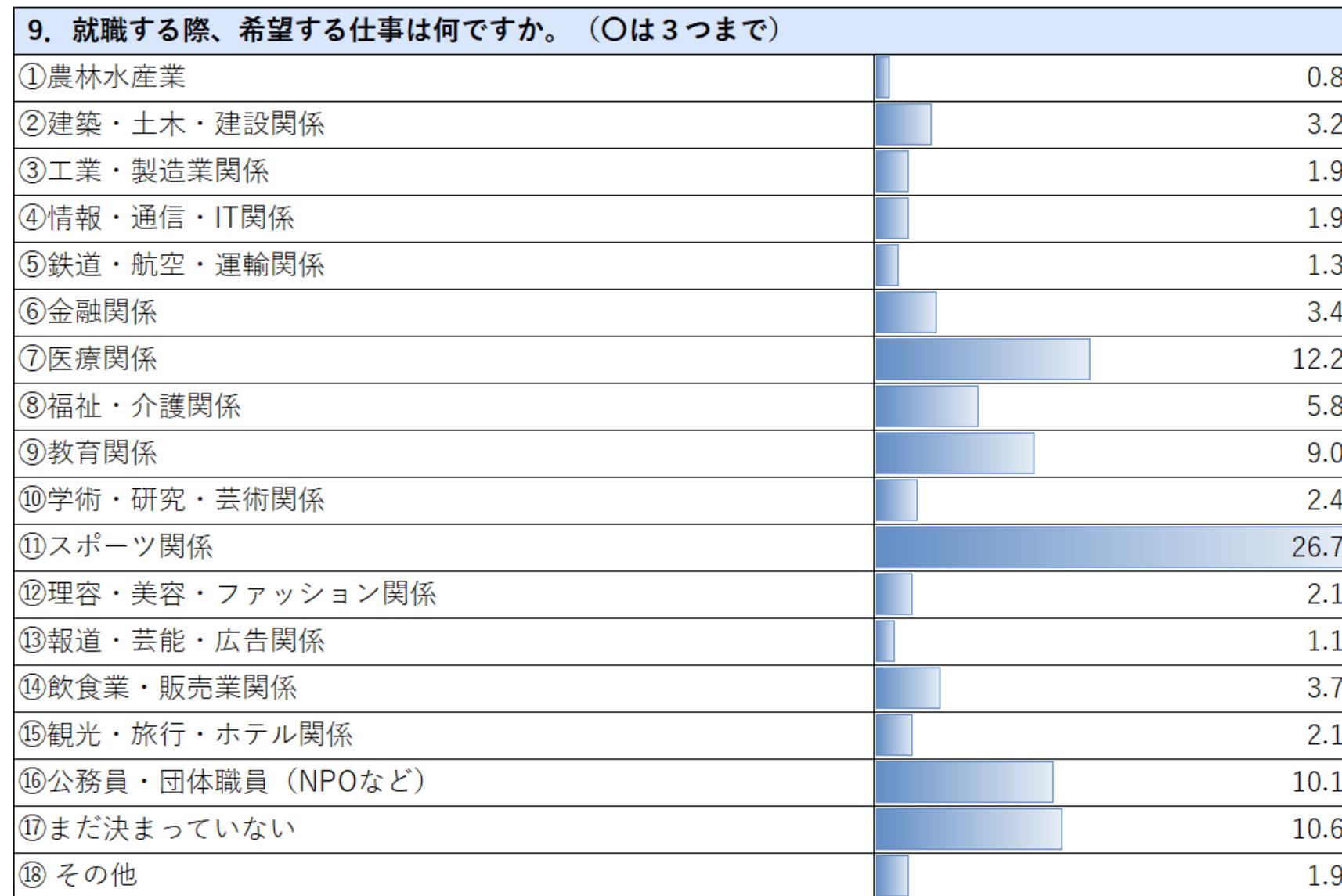
(%)

### その他の回答

関東地方、九州地方、香川県、佐賀県、大分県、地元、東海地方、東京都、徳島県、福岡県、兵庫県もしくは岡山県、未定、分からぬ、考えてない

## ●希望する仕事

- 就職希望職種については、「スポーツ関係」が最も多く26.7%を占め、次いで「医療関係」（12.2%）、「教育関係」（9.0%）、「公務員・団体職員（NPOなど）」（10.1%）が続いています。一方で、「まだ決まっていない」と回答した割合も10.6%あり、進路未定層が一定数存在しています。



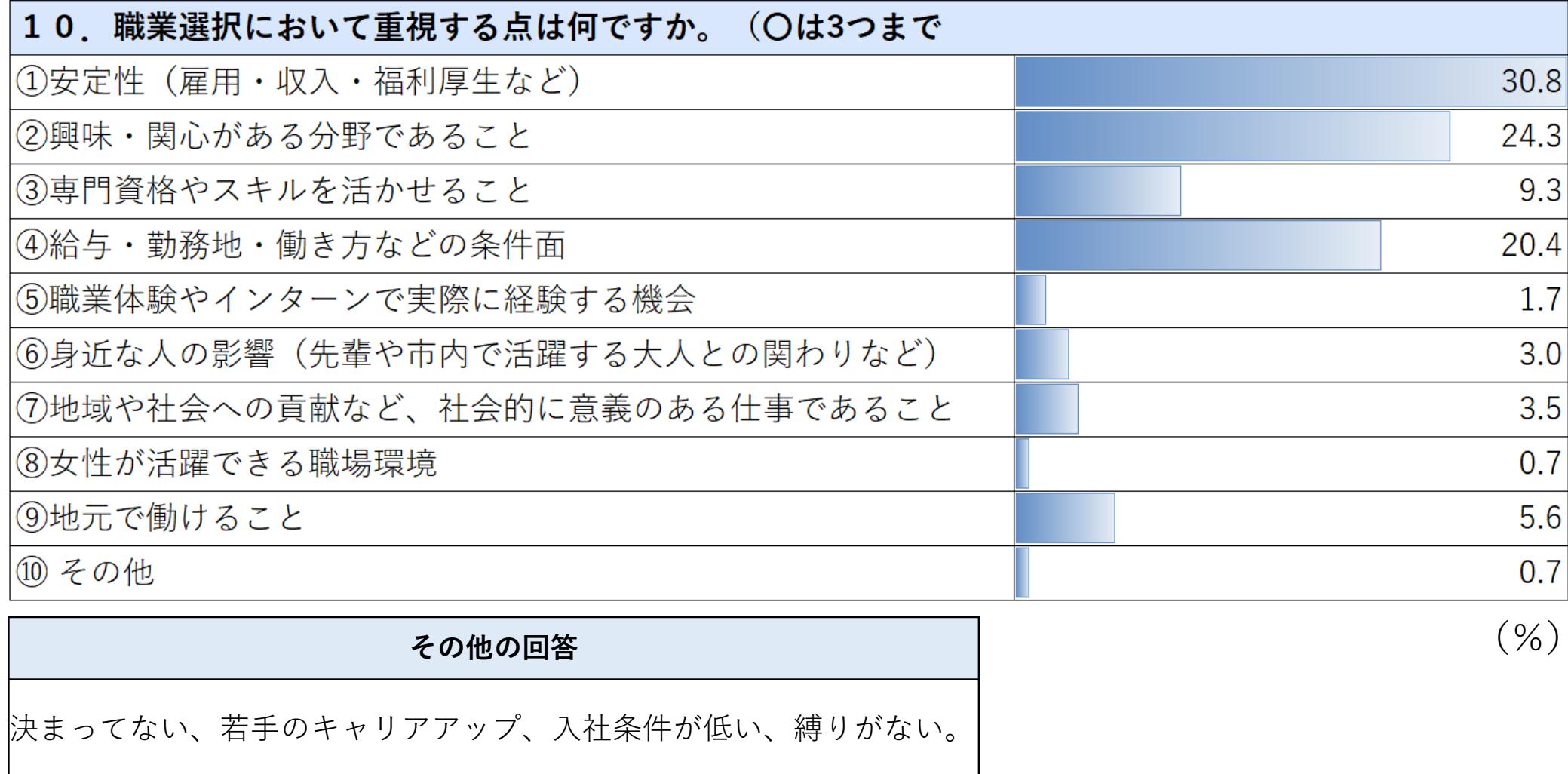
### その他の回答

アニメ・イラスト・ゲーム等メディア関係、アニメーション系、ゲームクリエイター、ディーラー、営業、進学、通訳

## ●職業選択において重視する点

・職業選択において重視する点として、「安定性（雇用・収入・福利厚生など）」が最も高く30.8%を占め、次いで「興味・関心がある分野であること」（24.3%）、「給与・勤務地・働き方などの条件面」（20.4%）が続いています。一方で、「地元で働くこと」（5.6%）や「地域・社会への貢献」（3.5%）を挙げる割合は低く、地域貢献意識の醸成には今後の課題が見られます。

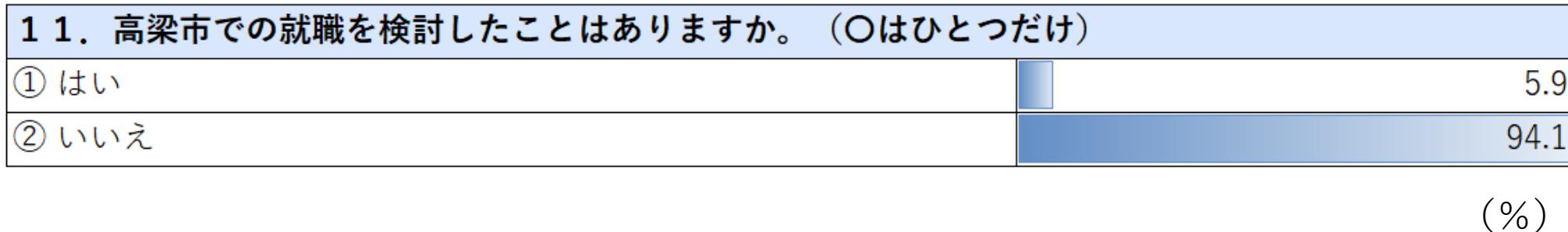
n=539



## ●市内就職を検討したことがあるか

- ・「いいえ」が94.1%と大半を占めており、「はい」と回答した人は5.9%に留まっています。

n=220



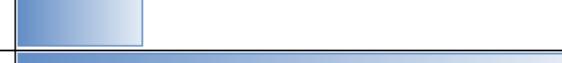
## ●市内就職を検討しない理由

- 「市内就職を検討しない理由」については、「交通アクセスや通勤環境が不便だから」（23.0%）が最も多く、次いで「生活環境（買い物・娯楽・教育など）に不安があるから」（19.2%）、「地元に帰りたいから」（18.0%）となっています。一方で、「給与や待遇に不安があるから」（5.8%）や「キャリア形成の機会が少ないから」（4.0%）といった就業環境に関する理由は比較的少なく、生活環境や移動利便性が市内就職意向に影響していることがうかがえます。

n=499

### 問11で「②いいえ」を選択した人のみ

#### 12. 市内就職を検討しない理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

①給与や待遇に不安があるから		5.8
②キャリア形成の機会が少ないから		4.0
③交通アクセスや通勤環境が不便だから		23.0
④生活環境（買い物・娯楽・教育など）に不安があるから		19.2
⑤市内企業の情報を知る機会が少ないから		5.8
⑥将来の安定性に不安を感じるから		8.8
⑦家庭や個人の事情があるから		4.0
⑧地元に帰りたいから		18.0
⑨都会に出てみたいから		8.2
⑩女性の活躍が難しそうだから		1.6
⑪その他		1.4

(%)

## ●市内就職を検討しない理由

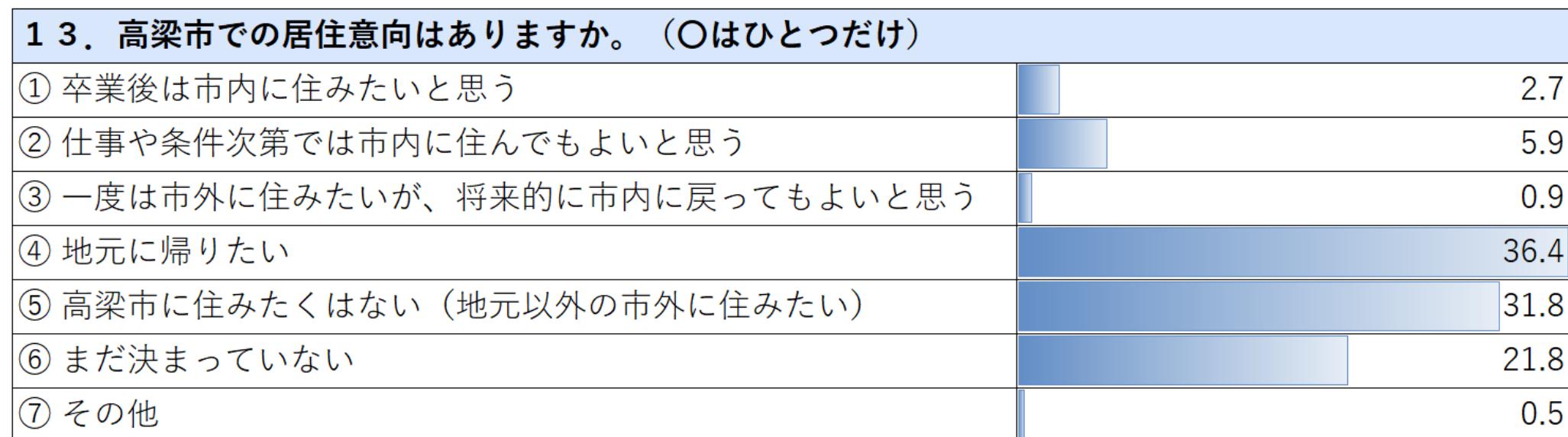
### その他の回答

そもそも自分が働きたいと思うところがない、もうすぐ高梁市は無くなるから、私の興味のある分野の仕事が見つからなかったから、全部において不便で若者がいない、田舎だから、理由は特になし

## ●居住意向

- 「地元に帰りたい」と回答した人が最も多く（36.4%）、次いで「高梁市に住みたくはない（地元以外の市外に住みたい）」が31.8%、「まだ決まっていない」が21.8%となっています。一方で、「卒業後は市内に住みたいと思う」または「仕事や条件次第では市内に住んでもよいと思う」と回答した人は合わせて8.6%に留まっており、多くの学生が市外での生活を視野に入れている状況がうかがえます。

n=220



他の回答

ない
----

(%)

## ●地元に帰りたい理由

- 「地元に友人や知人が多いから」 (25.1%) が最も多く、次いで「地元での生活環境が魅力的だから」 (20.7%) 、「将来、子育てや暮らしの場所として地元が良いと思うから」 (17.2%) が続いています。人とのつながりや生活環境を理由に挙げる割合が高く、地域への安心感や暮らしやすさが地元回帰意向を高める要因となっていることがうかがえます。

n=203

### 問13で「④地元に帰りたい」と回答した人のみ

#### 14. 地元に帰りたいと思う理由は何ですか。 (該当するものすべてに○)

①家族と一緒に暮らしたいから	16.7
②地元に友人や知人が多いから	25.1
③地元での生活環境が魅力的だから	20.7
④将来、子育てや暮らしの場所として地元が良いと思うから	17.2
⑤地元で地域活動や地域づくりに関わりたいから	8.9
⑥経済的に暮らしやすいと感じるから	10.8
⑦その他	0.5

その他の回答

(%)

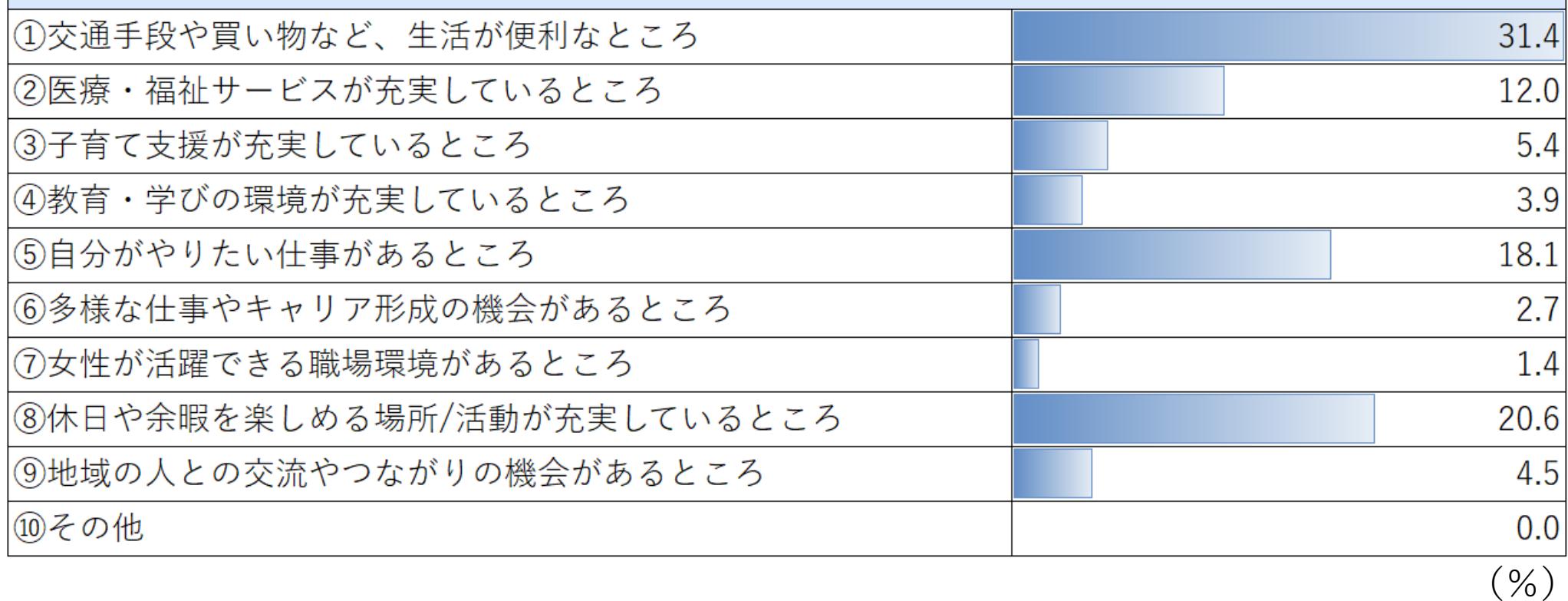
制度もよく知ってるから、安心

## ●どんなまちに住んでみたいか

- 「交通手段や買い物など、生活が便利なところ」（31.4%）が最も多い、次いで「休日や余暇を楽しめる場所・活動が充実しているところ」（20.6%）、「自分がやりたい仕事があるところ」（18.1%）が続いています。生活利便性の高さや余暇の充実といった“暮らしやすさ”が重視されており、若者世代においては、単に働く場所としてだけでなく、生活全体の満足度を重視する傾向が見られます。

n=558

### 15. あなたはどんなまちに住んでみたいですか？（〇は3つまで）



## ●市との関係継続の意向

- 「どちらともいえない」が最も多く48.2%を占めています。一方で、「ぜひ繋がりを持ちたいと思う」（12.3%）、「できれば繋がりを持ちたいと思う」（17.7%）を合わせると30.0%となり、約3割の学生が今後も高梁市との関わりを望んでいることが分かります。その一方で、「あまり繋がりを持ちたいとは思わない」（10.9%）、「まったく繋がりを持ちたいとは思わない」（10.9%）も一定数見られます。

n=220

### 16. 今後進学や就職で高梁市外に住むことになったとしても、高梁市と繋がりを持ちたいですか。 (○はひとつだけ)

① ぜひ繋がりを持ちたいと思う		12.3
② できれば繋がりを持ちたいと思う		17.7
③ どちらともいえない		48.2
④ あまり繋がりを持ちたいとは思わない		10.9
⑤ まったく繋がりを持ちたいとは思わない		10.9

(%)

## ●希望する関係の種類

- 「市外就職する場合も仕事を通じて関わりたい」 (15.3%) や「地域のイベント・祭りに参加したい」 (28.6%) など、働き方や地域活動を通じた関係づくりを希望する回答が多く見られました。また、「観光で訪れたい」 (22.4%) や「SNSなどを通じて情報を受け取り続けたい」 (9.2%) といった継続的なゆるやかな関係を望む層も一定数確認されました。

n=98

問16で「①ぜひ繋がりを持ちたいと思う」、「②できれば繋がりを持ちたいと思う」を選択した人のみ  
17. 高梁市とどのような繋がりを持ちたいですか。 (該当するものすべてに○)



## ●関係継続を希望しない理由

- 「地域への愛着があまりないから」が最も多く32.1%、次いで「距離や交通の便が悪く、参加しづらいから」（26.6%）、「時間や費用などの負担が大きいから」（17.4%）の順となっています。地域に対する愛着や関心の低さに加え、距離・交通などの物理的制約も大きな要因となっていることがうかがえます。

n=109

問16で「④あまり繋がりを持ちたいとは思わない」

「⑤まったく繋がりを持ちたいとは思わない」を選択した人のみ

18. 高梁市と繋がりを持ちたくないと考える理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

①地域への愛着があまりないから	32.1
②地域の活動にあまり興味がないから	14.7
③興味はあるが、何をすればよいかわからないから	2.8
④興味はあるが、一緒に参加する友人や知り合いがいないから	0.9
⑤市の情報や関わり方を知る機会が少ないから	5.5
⑥距離や交通の便が悪く、参加しづらいから	26.6
⑦時間や費用などの負担が大きいから	17.4
⑧その他	0.0

(%)